

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 マンダム
 コード番号 4917 URL <http://www.mandom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務管理部長 (氏名) 武田 勝則
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東

TEL 06-6767-5001

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	14,779	—	2,610	—	2,706	—	1,425	—
20年3月期第1四半期	14,273	9.5	2,887	32.7	2,988	33.2	1,586	46.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	59.94	—	—	—
20年3月期第1四半期	66.70	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円		円	銭
21年3月期第1四半期	52,219	—	44,643	—	79.6	1,748.45	—
20年3月期	54,218	—	45,868	—	78.1	1,779.67	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 41,591百万円 20年3月期 42,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
20年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00	80.00
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期連結累計期間	30,700	—	4,400	—	4,300	—	2,340	—	98.37
通期	58,400	3.8	6,900	0.9	6,830	1.9	3,520	0.6	147.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 24,134,606株 20年3月期 24,134,606株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 346,882株 20年3月期 346,551株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 23,787,973株 20年3月期第1四半期 23,788,883株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間におけるわが国経済は、民間企業の輸出が緩やかに拡大しましたが、円高・資源高を背景にした諸物価（食品を含む）の高騰により消費者マインドが低迷する中、内需回復は緩慢に推移しました。当化粧品業界におきましては、内需の低迷による数量の減少や、原材料高の価格転嫁が進まないことから、国内収益が悪化しており厳しい収益環境下にあります。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、一部の地域で減速感が見られるものの総じて景気拡大が続いており、概ね堅調に推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、日本および海外グループ会社一体となってブランド力の強化・育成に注力し、多様化する各国地域の生活者ウォンツに即応する商品開発を推進してまいりました。

当第 1 四半期の連結売上高は、147 億 79 百万円（前年同期比 3.5%増）となりました。主として、国内においてコア・ブランド「ギャツビー」がペーパー商品（フェイシャルペーパー、ボディペーパー）の好調な推移により売上を拡大したことや、アジア全域においても「ギャツビー」を中心に順調に売上拡大し、当第 1 四半期より新たにタイ子会社（MANDOM CORPORATION (THAILAND) LTD.）を連結対象に加えたことによるものであります。

営業利益は、26 億 10 百万円（同 9.6%減）となりました。これは主として、当社において広告宣伝費の投下が前年同期を上回ったことや、インドネシア子会社（PT MANDOM INDONESIA Tbk）における原油高に伴う原材料価格の高騰、ならびに輸入原材料・商品のドル・円に対する現地通貨安が原価高につながったことによるものであります。その結果、経常利益は 27 億 6 百万円（同 9.5%減）、四半期純利益も 14 億 25 百万円（同 10.1%減）の減益となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における売上高は 94 億 69 百万円（同 1.2%減）となりました。主として、コア・ブランド「ギャツビー」が売上拡大したものの、既存品の落ち込みをカバーできなかったことによるものであります。利益面においては、原価増となったことに加え、広告宣伝費・研究開発費等の販売費及び一般管理費の増加もあり、営業利益は 16 億 73 百万円（同 20.1%減）の大幅減益となりました。

一方、アジアにおける売上高は 53 億 10 百万円（同 13.3%増）となりました。これは「ギャツビー」がヘアスタイリング剤（整髪料）の売上拡大により好調に推移したことによるものであります。利益面においては、インドネシア子会社における原材料価格の高騰や現地通貨安による原価高があったものの、それを上回る増収効果により営業利益は 9 億 34 百万円（同 18.0%増）の大幅増益となりました。

また、アジアにおける子会社の業容拡大や、タイ子会社を連結対象に加えたことにより海外売上高は 54 億 30 百万円（同 13.2%増）となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は 36.7%となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は、主に有価証券の償還・売却による減少により前期末より 19 億 99 百万円減少して 522 億 19 百万円となりました。純資産はドル・円に対する現地通貨安の影響により為替換算調整勘定が減少したことから、前期末より 12 億 25 百万円減少して 446 億 43 百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第 1 四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、9 億 5 百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益が 27 億 2 百万円だったものの、売上債権の増加額が 10 億 78 百万円、たな卸資産の増加額が 7 億 53 百万円、法人税等の支払額が 14 億 3 百万円であったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、25 億 99 百万円のキャッシュ・インとなりました。これは日本およびインドネシアにおける設備投資を中心に有形固定資産の支出が 4 億 42 百万円あったものの、投資有価証券の取得および売却・償還による収支額が 35 億 80 百万円であったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12 億 40 百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは少数株主への配当金の支払額を含め株主配当金に 12 億 68 百万円使用したことによりものであります。なお、連結範囲の変更に伴い現金及び現金同等物が 69 百万円増加しております。

以上の結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物は、2 億 55 百万円増加し 100 億 46 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期における連結業績は前年同期比増収減益でありました。第 2 四半期以降も、販売面においては、国内外ともに競争激化が予想されますが、コア・ブランド「ギャツビー」の継続強化と女性分野の市場シェアアップを目指すとともに、国内の新製品の発売により、概ね計画を達成できる見込みであります。また、利益面においては、今後とも原油高に伴う原材料価格の高騰が予想されますが、国内では外注品の内製化や原材料の海外調達を推進するとともに、海外生産拠点であるインドネシア子会社 (PT MANDOM INDONESIA Tbk) の値上げと更なるコストダウンにより原価率低減に努めることにより、ほぼ当初計画どおりとなる見込みであります。

以上のようなことから第 2 四半期累計期間および通期の業績予想は当初発表時と変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当社および国内連結子会社は当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日) および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日) を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第 13 号 (平成 5 年 6 月 17 日 (企業会計審議会第一部会)、平成 19 年 3 月 30 日改正)) および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 16 号 (平成 6 年 1 月 18 日 (日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成 19 年 3 月 30 日改正)) が平成 20 年 4 月 1 日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第 1 四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日) が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) により算定しております。

この変更により、従来、営業外費用で処理しておりました「たな卸資産廃棄損」は、当第 1 四半期連結会計期間より売上原価に含めて処理しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. 当第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日) を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	5,296,032	5,066,727
受取手形及び売掛金	6,590,996	5,689,044
有価証券	5,799,526	7,452,449
商品	1,542,877	1,452,136
製品	3,573,925	3,366,637
半製品	—	112
原材料	1,602,205	1,389,003
仕掛品	345,181	269,088
その他	1,813,410	1,600,498
貸倒引当金	△31,155	△14,492
流動資産合計	26,532,999	26,271,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,811,465	8,971,562
その他(純額)	6,120,387	6,387,707
有形固定資産合計	14,931,853	15,359,269
無形固定資産		
のれん	467,932	137,235
その他	341,398	354,705
無形固定資産合計	809,330	491,941
投資その他の資産		
投資有価証券	8,184,354	10,796,717
その他	1,848,921	1,387,662
貸倒引当金	△88,022	△87,922
投資その他の資産合計	9,945,253	12,096,457
固定資産合計	25,686,438	27,947,668
資産合計	52,219,438	54,218,874

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,231,088	799,311
短期借入金	29,993	—
未払法人税等	1,144,052	1,434,846
引当金	724,605	1,154,289
その他	2,872,846	3,328,345
流動負債合計	6,002,587	6,716,793
固定負債		
引当金	501,970	487,587
その他	1,071,379	1,145,511
固定負債合計	1,573,350	1,633,098
負債合計	7,575,937	8,349,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,205	11,235,206
利益剰余金	23,231,710	23,129,484
自己株式	△954,271	△953,356
株主資本合計	44,907,462	44,806,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	196,481	156,262
為替換算調整勘定	△3,512,215	△2,627,631
評価・換算差額等合計	△3,315,733	△2,471,369
少数株主持分	3,051,771	3,534,200
純資産合計	44,643,500	45,868,982
負債純資産合計	52,219,438	54,218,874

(2) 四半期連結損益計算書
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
売上高	14,779,608
売上原価	6,596,935
売上総利益	8,182,672
販売費及び一般管理費	5,572,653
営業利益	2,610,018
営業外収益	
受取利息	36,626
受取配当金	33,528
その他	61,315
営業外収益合計	131,469
営業外費用	
売上割引	10,100
その他	25,381
営業外費用合計	35,481
経常利益	2,706,006
特別利益	
貸倒引当金戻入額	501
固定資産売却益	3,508
投資有価証券売却益	3,807
特別利益合計	7,816
特別損失	
固定資産売却損	82
固定資産除却損	10,796
特別損失合計	10,879
税金等調整前四半期純利益	2,702,944
法人税等	1,078,862
少数株主利益	198,196
四半期純利益	1,425,885

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第 1 四半期連結累計期間	
(自 平成 20 年 4 月 1 日	
至 平成 20 年 6 月 30 日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,702,944
減価償却費	537,684
のれん償却額	33,638
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,807
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,861
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△315,980
受取利息及び受取配当金	△70,154
為替差損益 (△は益)	4,449
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,078,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△753,705
仕入債務の増減額 (△は減少)	453,126
未払金の増減額 (△は減少)	△818,531
その他	△278,695
小計	427,500
利息及び配当金の受取額	70,860
法人税等の支払額	△1,403,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△905,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△442,332
無形固定資産の取得による支出	△64,544
投資有価証券の取得による支出	△73,297
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,653,664
子会社出資金の取得による支出	△75,716
その他	△398,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,599,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,053,284
少数株主への配当金の支払額	△215,097
その他	28,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,240,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△268,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	185,728
現金及び現金同等物の期首残高	9,791,122
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,046,500

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,469,467	5,310,141	14,779,608	—	14,779,608
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	825,432	160,282	985,714	△ 985,714	—
計	10,294,899	5,470,423	15,765,323	△ 985,714	14,779,608
営業利益	1,673,550	934,762	2,608,312	1,706	2,610,018

【海外売上高】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高 (千円)	4,811,497	619,397	5,430,895
II 連結売上高 (千円)	—	—	14,779,608
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	32.5	4.2	36.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
	金額
I 売上高	14,273
II 売上原価	6,211
売上総利益	8,062
III 販売費及び一般管理費	5,174
営業利益	2,887
IV 営業外収益	153
受取利息及び受取配当金	62
その他	90
V 営業外費用	52
たな卸資産廃棄損	22
その他	29
経常利益	2,988
VI 特別利益	16
VII 特別損失	5
税金等調整前四半期純利益	2,999
税金費用	1,238
少数株主利益	174
四半期純利益	1,586

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,999
減価償却費	492
売上債権の増減額 (増加：△)	△ 191
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△ 324
仕入債務の増減額 (減少：△)	198
法人税等の支払額	△ 577
その他	△1,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,358
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△1,038
有価証券・投資有価証券の償還および売却による収入	1,400
有形固定資産の取得による支出	△ 572
無形固定資産の取得による支出	△ 32
その他	△ 326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 569
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△ 855
自己株式の取得による支出	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 855
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 25
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 92
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,783
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	163
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	8,855

(3) セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	合計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,584	4,688	14,273	—	14,273
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	799	154	953	△ 953	—
計	10,384	4,843	15,227	△ 953	14,273
営業費用	8,289	4,050	12,339	△ 954	11,385
営業利益	2,094	792	2,887	0	2,887

〔海外売上高〕

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	4,328	468	4,797
II. 連結売上高			14,273
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 30.3	% 3.3	% 33.6

「参考」
 四半期個別財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,684,832	2,630,307
受取手形及び売掛金	3,296,913	3,112,419
有価証券	5,799,526	7,452,449
商品	297,765	332,208
製品	2,584,235	2,047,925
半製品	—	112
原材料	568,305	545,254
仕掛品	201,204	146,797
その他	3,124,285	1,067,278
貸倒引当金	△ 426	△ 373
流動資産合計	18,556,643	17,334,382
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,207,549	7,233,595
その他（純額）	4,178,459	4,036,322
有形固定資産合計	11,386,009	11,269,918
無形固定資産		
	299,798	310,752
投資その他の資産		
投資有価証券	7,927,252	9,780,497
関係会社株式	6,512,460	6,512,460
その他	2,022,154	2,013,082
貸倒引当金	△ 85,423	△ 85,323
投資その他の資産合計	16,376,443	18,220,716
固定資産合計	28,062,251	29,801,388
資産合計	46,618,895	47,135,770

(単位：千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,031,877	708,147
未払法人税等	822,147	1,171,354
引当金	603,683	1,054,861
その他	2,266,414	2,683,173
流動負債合計	4,724,122	5,617,537
固定負債		
引当金	153,913	122,599
その他	1,031,114	1,043,790
固定負債合計	1,185,028	1,166,390
負債合計	5,909,151	6,783,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,205	11,235,206
利益剰余金	18,840,736	18,522,438
自己株式	△ 954,271	△ 953,356
株主資本合計	40,516,488	40,199,105
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	193,256	152,737
評価・換算差額等合計	193,256	152,737
純資産合計	40,709,744	40,351,842
負債純資産合計	46,618,895	47,135,770

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
【第 1 四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
売上高	9,832,953
売上原価	4,334,555
売上総利益	5,498,397
販売費及び一般管理費	3,868,230
営業利益	1,630,167
営業外収益	
受取配当金	708,795
その他	59,758
営業外収益合計	768,554
営業外費用	
什器処分損	7,066
その他	20,781
営業外費用合計	27,848
経常利益	2,370,872
特別利益	
貸倒引当金戻入額	43
投資有価証券売却益	3,807
特別利益合計	3,850
特別損失	
固定資産売却損	82
固定資産除却損	10,607
特別損失合計	10,689
税引前四半期純利益	2,364,032
法人税等	856,331
四半期純利益	1,507,700

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。